

記者発表・資料提供			
月日(曜日)	担当課等	TEL	担当者
10月15日(火)	水産課 企画管理担当	2471	宮本 和田

猛毒の針を持つ貝「タガヤサンミナシ貝」など、 「イモガイ科」の貝にご注意ください!!

10月14日(月)に牟岐町地先において、巻貝の一種で、場合によっては死亡することもある猛毒を持つ「タガヤサンミナシ貝」が見つかったとの報告が、本日、「貝の資料館 & 漁師さんの水族館『モラスコむぎ』」から届きました。

今回見つかった「タガヤサンミナシ貝」や、今月はじめに高知県安芸郡東洋町甲浦地先で採捕された「アンボイナ貝」など、「イモガイ科」に属する貝は、口内に猛毒を注入する毒針を持っているものが多く、万一刺されると大変危険な貝ですので、十分ご注意ください(詳しくは、別紙参照)。

なお、本日、南部総合県民局産業交流部(美波)から、阿南市以南の関係漁業協同組合に対し、別紙による注意喚起を行っております。

タガヤサンミナシガイ(イモガイ科)

潮間帯下から水深30mの砂泥底に棲む大型のイモガイ。

全表面には三角形のウロコ状の模様で覆われている。体層に2本の褐色帯があり、この中にはジグザグの暗色の縦帯がある。殻口は広くて白い。アンボイナガイと並んで、非常に強い毒を持つ。殻長：12cm、分布：紀伊半島以南(学習研究社「学研生物図鑑 貝Ⅰ」より抜粋)

